

厚生労働科学研究費補助金（がん対策推進総合研究事業）
分担研究報告書

総合的な思春期・若年成人（AYA）世代のがん対策のあり方に関する研究

「AYA世代がん患者の妊孕性温存に関する研究：岐阜モデルの調査及び検証」

研究分担者 森重健一郎 岐阜大学大学院医学系研究科 教授

研究要旨：AYA 世代がん患者の妊孕性に関する大規模調査の結果解析により支援のための諸問題を明らかにした。また医療連携の先駆的ネットワークである岐阜モデルの充実のためのネットワークセミナーの開催し、ヘルスケアプロバイダー（看護師、心理士など）の養成を行った。

A．研究目的

岐阜県における AYA 世代がん患者に対するがん・生殖医療提供体制（岐阜モデル）での問題点や課題の検証、啓発活動および人材育成を行うことを目的とする。

B．研究方法

全国大規模調査で、生殖小班が担当した質問事項について解析・検討を踏まえて、2017年11月に日本がん生殖医療学会と協力してOncofertility Consortium Japanシンポジウムを、2018年3月に岐阜ネットワークセミナーを開催し議論を通して課題抽出と啓発活動を行った。

（倫理面への配慮）

個人情報そのものを扱わず倫理面の問題はない。

C．研究結果

全国大規模調査で明らかになった専門医・がん患者の情報不足を解消するため、Oncofertility Consortium Japanシンポジウム・岐阜ネットワークセミナーを通じて課題抽出を行った。その中で地域ネットワークのない地域と岐阜モデルのようにネットワークのある地域では、専門医・がん患者の意識・満足度に差を認めた。また妊孕性温存に関する知識とカウンセリングの技術をもつヘルスケアプロバイダー（看護師・心理士など）の不足であることが示された。

D．考察

地域ネットワークの必要性和情報提供拠点の必要性が示唆された。また生殖医療に関するヘルスケアプロバイダーの育成が求められている。今後の効果的な育成方法についての検討が必要であろう。

E．結論

がん・生殖医療連携体制の地域での普及のためには、情報提供施設の拠点化、地域での情報交換の活性化、支援員の育成・学習支援が必要性が明らかになった。

G．研究発表

1．論文発表

よくわかる臨床不妊症学【生殖補助医療編：2が
ん・生殖医療の現在 図説第3版．2018．中外医学
社．古井辰郎、寺澤恵子、森重健一郎

日本精神科病院協会雑誌37(2)：岐阜県での周産
期メンタルヘルスケアの現状と今後の取り組み．2
018．志賀友美、古井辰郎、森重健一郎

最先端医療シリーズ48 臨床医のための最新産
科婦人科：2.地域におけるがん・生殖医療ネットワ
ーク構築．2017．先端医療技術研究所．古井辰郎、
牧野弘、寺澤恵子、竹中基記、山本晃央、森重健一
郎

がん・生殖医療ハンドブック：33子宮頸がんて妊
孕性温存療法の適応となるのは？勧められる治療
法は？2017．MCメディカ出版．森重健一郎

がん・生殖医療ハンドブック：48わが国における
がん・生殖医療ネットワークとその役割は？- JSF
Pの取り組みを中心に．2017．MCメディカ出版．古
井辰郎、牧野弘、寺澤恵子、竹中基記、菊野享子、
山本晃央、森重健一郎

千葉県産科婦人科医学会雑誌10(2)；89-90．若年
がん患者の妊孕性温存．2017．森重健一郎

日本医師会雑誌146(6) 1200-1201：医学的適応に
よる妊孕性の温存．2017．森重健一郎、山本晃央、
古井辰郎

がんと化学療法 45(5)：本邦におけるAYA世代
がん患者に対する妊孕性に関する支援体制：がん専
門医調査の結果より、2018（掲載予定）古井辰郎、
高井泰、木村文則、北島道夫、中塚幹也、森重健一
郎、山本一仁、橋本大哉、松本公一、大園誠一郎、
堀部敬三、鈴木直

2．学会発表

森重健一郎：婦人科がんの妊孕性温存治療．第1
4回長野県婦人科腫瘍懇話会（長野）H29.1.28

森重健一郎：婦人科がん治療におけるQOLの視点．
京都婦人科がん治療研究会（京都）H29.2.18

森重健一郎：岐阜県飛騨地域における周産期体制
の再構築．第32回岐阜県母性衛生学会学術講演会
（岐阜）H29.2.4

寺澤恵子、古井辰郎、牧野 弘、竹中基記、菊野
享子、森重健一郎：男性がん患者の妊孕性温存に関
する問題点．第69回日本産科婦人科学会学術講演会
（広島）H29.4.14-16

H．知的財産権の出願・登録状況（予定を含む。）

1. 特許取得 なし
2. 実用新案登録 なし
3. その他 なし